令和８年度 物流講座　開催案内

１．物流講座の目的

港湾関係業務に携わる行政職員及び民間企業等職員の方に、国際・国内物流の最新動向を学び、考える機会を提供することにより、港湾振興の戦略検討や実務の充実・強化に役立てていただくことを目的としています。

２．受講対象

港湾管理者、港湾所在市町村、国、港湾関連企業、コンサルタント等の職員の方で、５年程度以上の実務経験を有する方を対象としています。

３．開催時期　令和８年１０月６日（火）～７日(水)

４．会　場

TKP赤坂カンファレンスセンター　13D

東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル13階　電話　03-5545-8135

５．募集受講者数：会場参加　４０名　 オンライン参加　２０名（定員に達した場合には、申込期限にかかわらず締切らせていただきます。）

※オンライン参加は、受講者が自身のパソコン等を使用し、Ｗｅｂ会議システム（Ｚｏｏｍ）により、オンラインで講義を受講するものです。なお、講義資料は事前に送付します。

６．受講料（税込み）

会員１２，０００円(10％税込)/人　 一般の方１６，０００円(10％税込)/人

(会場参加・オンライン参加とも同額です。申込受付後、請求書を送付いたします。)

なお、納付された受講料は、不参加の場合でも返金いたしかねますので、あらかじめご了承願います。

７．申込み方法

申込受付期間：令和８年８月１０日（月）から９月１１日（金）まで

日本港湾協会ホームページ公益社団法人 日本港湾協会　講演会・講習会からお申し込みください。

会場参加、又はオンライン参加のいずれかを選択してください。

問合せ先　　　　（公社）日本港湾協会　　大沼、中島　電話03-5549-9575

※本講座は土木学会継続教育（ＣＰＤ）プログラムの認定申請予定です。

（土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は、提出先団体に事前にご確認ください。）

講師、講義内容については変更が生じる場合があります。

８．カリキュラム

【令和8年10月6日(火)】

時間	内　　容	講　　師
10：30～10：35	開講挨拶	(公社)日本港湾協会
10：40～11：30 (50 分)	「ロジスティクスと港湾サービス」 港湾政策にサプライチェーンやロジスティクスへの対応が配慮されるようになり20年が経過した。荷主や輸送事業者がロジスティクスを円滑に実施するために港湾が提供すべき機能やサービスについて概観する。	国立研究開発法人 海上･港湾･航空技術研究所 港湾空港技術研究所 特別研究主幹 安部　智久　氏
11：40～12：30 (50 分)	「長距離フェリー･RORO 船の現状と利用拡大の可能性」 長距離フェリー･RORO 航路の現状、海運へのモーダルシフトの意義、物流関連法令の動向、定期航路利用拡大の可能性など	流通経済大学 客員講師 加藤　博敏　氏
13：30～14：40 (70 分) 14：50～16：00 (70 分) 16：10～17：10 (60 分)	「港湾の経営とロジスティクス戦略」 サプライチェーン時代の港湾、世界の港湾ロジスティクス戦略の実態、日本の成長戦略と港湾の役割、新しい時代の港湾管理者など 〈課題討議〉	前政策研究大学院大学 客員教授 井上　聰史　氏
17：20～19：00	意見交換会	

【令和8年10月7日(水)】

時間	内　　容	講　　師
9：30～10：20 (50 分)	「グローバルアライアンスの変遷とその運営モデル」 定期船業界におけるグローバルアライアンスの歴史、意義、意思決定方法を中心とした運営モデルについて解説する。	Ocean Network Express Pte Ltd Network & Operations Executive Vice President 小山　和人　氏
10：30～11：20 (50 分)	「官民･民民連携による物流効率化の取り組み」 物流課題山積の中、複数企業との協業によるコンテナラウンドユースとオフピーク輸送の実施などによる、東京港の混雑緩和、ドライバー負担軽減、車両効率向上、CO_2削減、安定的なコンテナ輸送力の確保などを目的とした取り組み	株式会社クボタ 物流統括部 担当部長 武山 Alex 義知　氏
12：30～13：40 (70 分) 13：50～15：10 (80 分)	「現代物流の動向」(2026 年) ― 物流大転換時代における港湾の新たな役割 ― 1. はじめに 2. 世界の動向 ･地政学と物流(グローバリゼーションの終焉、新冷戦時代の物流)、サプライチェーンの再定義 3. 物流の 2024 年問題のその後の展開 ･物流 2 法改正(CLO、モーダルシフト)、第 8 次物流施策大綱、フィジカルインターネット実現会議 4. フィジカルインターネットの展開 5. 港湾とマーケティング 6. 脱炭素化の動向 7. 港湾、海運における DX の取り組み 8. 港湾･海運の課題解決に向けた 2 つの提案 9. まとめ	流通科学大学 名誉教授 森　隆行　氏
15：15	閉講	